

平野 進 議員

学校ファーム 取りくみへの考えは 「人間関係のあり方を学ぶ機会である」

議員 ①学校教育における体験活動の増進、農地の有効利用を目的とした学校ファームの取りくみの考えは。②グリーンツーリズムの推進地や友好都市との交流事業の取りくみの考えは。③用地確保について、荒川水循環センター上部の一部利用をする考えは。

雨水の 有効利用へ

議員 雨水貯留施設等設置費補助金制度の支援状況、反響等、今後の取りくみは。

都市整備部長 初年度は4件、20年度は12件、町会会館45カ所、21年度は芦原小学校を除く全小学校11校へ設置。市民ボランティア花壇への設置は検討している。

自転車の安全対策を

図れるよう支援したい。②意義は理解するが、現状では難しい。友好都市との交流は、研究していきたい。③希望する学校が取りくみやすい環境を整備をしていきたい。



▲ 美女木小学校の学校ファーム

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では9月9日から3日間、17人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲ 第9回目を迎えた戸田市美術展(市展)には多くの人が訪れ、秋のひとときを過ごしていました。



一般質問

神保市政3期の総括と 次期市長選への出馬は

「次期市長選で市民の審判を仰ぐ」

議員 神保市長が市政に携わり、3期12年が経過する。我が戸田市は大きく変化する時代にあつたが、市長は的確に市政を導いてきた。3期12年の総括をどう考えるか。

また、次期市長選へ出馬の考えは。

市長 3期の間に、開かれた市政の実現、合併しないまちづくりの選択、行政の効率化と健全な財政運営の3点により、将来にわたるまちづくりの基礎体力をつけることができたと考えている。

また、次期市長選へ出馬の考えは。まちづくりに終わりはなく、社会状況は厳



▲ 次期市長選への出馬を表明する神保市長

秋元 良夫 議員

馬場 栄一郎 議員

安全基準を満たした 3人乗り自転車の普及を

「助成により普及を図ることは難しい」

議員 7月1日より、埼玉県道路交通法施行細則の一部改正が行われ、一定の自転車で幼児2人を同乗させて運転ができるようになった。警察庁の検討委員会は、複数の幼児を持つ保護者にとって、自転車は日常生活に欠か

せない交通手段で、3人乗り禁止のルールはほとんど守られていない状態であることを認め、深刻な少子化・経済問題を考慮すれば、子育て支援の観点からも、安全性が確保された自転車に限り認めるべきだとした上で、

具体的な構造上の安全基準を示した報告書をまとめた。本市の普及に対する取りくみはどうなっているのか。



▲ 基準を満たした3人乗り自転車の普及はいかに

市民生活部長 市では、交通安全教室や

広報戸田市などの啓発機会を通じ、市民への情報提供を行っている。しかし、幼児2人を自転車に同乗させると、幼児1人に比べ、走行安定性が急激に低下し転倒しやすくなることや自転車事故の割合が高いなどの交通事情を考えると、3人乗り自転車の普及、増加には交通安全上の不安がある。

議員 安全性のない自転車による3人乗りを放置する姿勢はいかなものか。子育て支援の観点からも助成金交付による普及を図るべきではないか。

市民生活部長 当市の交通事情や3人乗り自転車への不安があり、あえて助成金を交付して普及を図ることは難しい。

